

令和8年2月8日執行

衆議院小選挙区選出議員選挙

選挙公報(熊本県第3区)

熊本県選挙管理委員会

小選挙区

坂本てつし 経歴

昭和25年11月6日生まれ
大津町立陣内小学校(現大津南小学校)
大津町立大津中学校
熊本商大付属高校(現学園大付属高校)
中央大学法学部 政治学科卒業
昭和50年 熊本日日新聞社入社(記者歴15年)

平成3年 熊本県議会議員 初当選(連続4期)
平成15年 第43回衆議院議員 初当選(無所属)
平成17年 第44回衆議院議員総選挙 傷敗
平成19年 衆議院議員熊本県第3区補欠選挙 当選(2期)
自由民主党入党 熊本県第3選挙区支部長
平成21年 第45回衆議院議員総選挙 当選(3期)
平成24年 第46回衆議院議員総選挙 当選(4期)
平成25年 衆議院農林水産委員長
平成26年 第47回衆議院議員総選挙 当選(5期)
平成29年 第48回衆議院議員総選挙 当選(6期)
令和2年 一億総活躍担当大臣
まち・ひと・しごと創生担当大臣
内閣府特命担当大臣 地方創生 少子化対策

令和3年 第49回衆議院議員総選挙 当選(7期)
令和5年 農林水産大臣
令和6年 自由民主党国会対策委員長
第50回衆議院議員総選挙 当選(8期)

坂本てつしはこんな人

【家族】妻、一男、二女
【趣味】ジギング、剣道、テニス
【好きな言葉】疾風勁草
【愛読書】三国志(吉川英治著)
龍馬がゆく(司馬遼太郎著)

- 地方を見る・聞く・歩く
- いばらない
- 私利私欲に走らない
- 人の話を良く聞く



熊本3区発展のための 推進政策

- 中九州横断道路、九州中央自動車道及び国道3号植木バイパスの早期完成。
熊本3区内の道路整備は着々と進捗
- TSMC関連の道路整備、農地や地下水の維持・保全などの基盤整備と各市町村への経済波及の実現
- 熊本地震から10年、未来を担う子どもたちのために創造的復興と地域づくりの総仕上げ
- 市町村の広域ネットワークによる行政コスト削減と新大空港構想によるアクセス道路、
鉄道の整備による新たな経済圏の樹立
- 豪雨、地震、山林火災など自然災害に備えた地域強靭化と消防団育成など防災対応力の強化

これらの政策一つ一つを丁寧に実現させ、10年後の日本を見据え地域を確実に発展させ、
利便性が高く安全で豊かな生活ができる国と地域にしていきます。



“3つの柱と9の政策”

1 日本人を豊かにする ～経済・産業・移民～

- 1 “集めて配る”より、ます 減税
減税と社会保障料の削減により、国民負担率を35%に抑え、積極財政による経済成長で国民の豊かさが持続的に高まる経済構造を実現します。
- 2 日本はまだ間に合う “NO! 移民国家”
労働不足の解決を、安易な移民依存に委ねません。適正な人口計画を立て、外国人労働者の受け入れと外国人の土地取得を制限します。
- 3 現場の人 が支える日本
製造業、建設業、運送業、医療介護福祉や警察・消防・自衛官等、現場で汗をかく方々の待遇を改善し、安心して働く社会をつくります。

2 日本人を守り抜く ～食と健康・一次産業・エネルギー～

- 4 食は人の天なり
食を守ることは国家の安全保障そのものです。食の安全を向上させ、食料自給力を高め、国民が決して飢えることのない体制を整えます。
- 5 エネルギーと資源確保が 生命線
諸外国も見直しを進めている脱炭素政策を再構築します。再エネ賦課金を廃止し、安く、安全で安定したエネルギーを国内で確保します。
- 6 安心医療で 健康国家
過剰な医療や非効率な仕組みは見直しつつ、予防を重視した体制へ転換し、子どもから高齢者まで、すべての人の健康と安心を支えていきます。

3 日本人を育む ～教育・人づくり・国家観～

- 7 子ども一人につき月10万円
0~15歳の子ども一人につき月10万円の教育給付金を支給し、若者が子供を授かり育てたいと思える環境をつくります。
- 8 受験戦争からの解放
偏差値重視の教育から脱却し、ひとりひとりの個性、強みが正当に評価される教育へと転換します。健全な人格を育む場にします。
- 9 日本はみんなの家
日本の国力が衰える中で、国際情勢も緊迫してきました。“ひとりひとりが日本”という意識改革を起こし、日本の豊かさと平和を守ります。

比例は 参政党

とお書きください。

参政党の政策は▶
こちらの特設サイトから!



つるたかずよし プロフィール 熊本県菊池市出身、1986年生まれ。同県合志市在住。熊本県立鹿本高等学校、熊本県立大学を卒業後、東京で専門商社の法人営業に従事。その後、リターンし実家の農業に取り組みつつ、社会福祉法人に勤め、障害者の生活支援員を行なう。青年会議所や消防団などで活動する中、地方衰退や政治の課題を認識し政治を志す。



参政党公認

つるたかずよし

橋村りかのプロフィール (53歳)

生年月日 1972年4月27日
1985年3月 益城町立広安小学校卒業
1988年3月 益城町立益城中学校卒業
1991年3月 熊本県立済々黌高等学校卒業
1996年3月 熊本大学法学部卒業
1997年 三角法律事務所勤務(～2000年)
2016年3月 放課後等デイサービスにじいろ設立
2022年5月 一般社団法人百華設立
2024年10月 第50回衆議院議員選挙立候補(次点)

資格等 公認心理師・防災士・発達障害児支援士
放課後児童支援員認定

社会活動等 2009年 育児サークルハッピークローバー立上げ
2014年 医療的ケアを必要とする子どもたちの
豊かな学校生活を願う親の会・虹色の会
人権教育研究協議会等における「共生の教育」に
関する講演活動

特技・趣味 アクセサリー作り
などのハンドメイド、
キャンプなどの
アウトドア活動

命を大切にする政治へ!

政治の最も大切な責任は「戦争をしない国であり続ける」ことです。

高市首相は、争いの火種をまいたうえに、危機をあおり、戦争の準備を進めています。
橋村りかは、平和の道を選ぶ政治を、戦争のない平和な未来を子どもたちに残す政治をつくります。

憲法は飾っておくものではありません。憲法を守らせ、くらしの中に活かしましょう。

働いても希望が見えない若者、性別や障害の有無・国籍で排除される人たちがいます。

橋村りかは、つらいときに「助けて」と言える社会をつくります。

「国を守る」とは「国民の生活を守ること」。政治は生活者のためにあります。

橋村りかは、教育・雇用・医療・介護の負担を軽減し、夢・希望を語り合える社会をつくります。

緊急な政策として消費税ゼロ、教育の完全無償化、医療・介護への国庫負担増を!

財源は天井知らずの「防衛費増額分」です。

私たち生き方、考え方、歩んできた道もすべて違います。

橋村りかは、違いを認め合い、違いを歓迎し、お互いに学び合える、本当に豊かな社会をつくります。
これこそが本当の意味での強く、豊かな社会です。

生きることを、自分の命を諦めなくていい、温かな血の通った社会を
橋村りかは、この国に生きるみなさんとともに、つくっていきます。



橋村りか

社民党公認

連合熊本支持

熊本第3選挙区は社民党公認
橋村りかをよろしくお願い致します。

比例区は 社民党!

(この選挙公報は、原稿をそのまま製版し、くじで定めた順序により掲載したものです。) 両面をご覧ください。

令和8年2月8日執行

衆議院小選挙区選出議員選挙

選挙公報 (熊本県第3区)

熊本県選挙管理委員会

小選挙区

届けよう、
戸を

あなたの一票が、未来を創る力になる。



デッサン画制作/崇城大学 芸術学部の皆さん

第51回衆議院議員総選挙 第27回最高裁判所裁判官国民審査

投票日

2月8日

投票時間

※投票所により異なります。

午前7時 ▶ 午後8時



投票日に予定がある方は
期日前投票を!

1月28日(水)~2月7日(土)
午前8時30分~午後8時



※投票所により期間や時間が異なりますので、詳しくは、お住いの市区町村の選挙管理委員会にご確認ください。

熊本県選挙管理委員会 熊本県明るい選挙推進協議会

(この選挙公報は、原稿をそのまま製版し、くじで定めた順序により掲載したものです。) 両面をご覧ください。

©2010熊本県くまモン

選挙のめいいくん